

～第 42 回 調布市民民スポーツまつり～
調布チアまつり 2024 in 味スタ

規定

—目次—

P,2	競技規定
P,3	安全規定
P,3	演技規定
P,4	表彰について

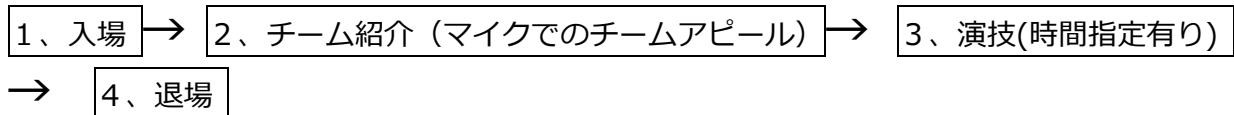
チアまつり実行委員会

競技規定 =====

◎演技構成について

観客に向けて適切であり、楽しめるものであること。選手の年齢を考慮した内容で演技構成をすること。音楽の解釈が演技構成とマッチしていること。チームで織り成す表現力やシンクロ性、シャープで力強いポンポンの視覚効果と、アームモーション、ジャンプ、ターン、キックを用いた演技構成であること。

<ステージの流れ>



※2のチーム紹介は、センター前方に用意されたマイクにてチームの活動やチアまつりに向けて頑張ってきたことなどをアピールしてください。（ユニフォームを着用したメンバーが行ってください）

◎年齢の構成について

- ① 園児の部： 主な出場選手が3歳以上の未就学児
- ② 小学生の部： 主な出場選手が小学1年生～小学生6年生以下
- ③ 中学生以上の部： 主な出場選手が中学生以上
(メンバーの80%が対象となる年齢の部を選択ください)

◎人数の構成について

4名以上、24名以下 ※安全に配慮した人数設定をお願いします。

◎演技フロアについて

縦11.7m×横15.3m 床面はスポーツコート

上記の通り、フロアサイズに目安はありますが、ラインオーバー規定（減点）は設けない。

※雨天時は縦が6.5m程度となります。

雨を避けた場所での開催となりますが、演技内容につきましては、怪我のないよう、状況を考慮したパフォーマンスをお願いいたします。

◎演技時間について

＜入場から退場までの時間＝4分間＞

- ① 1人目の選手がコートに入ったところからチーム持ち時間の4分間がスタートとする。
「演技構成について」に記した「ステージの流れ」の一連を指定時間内で行うこと。
- ② ①の内、音楽をかけている演技時間は、1分30秒～2分30秒以内で構成すること。

安全規定 =====

- 1、 イベント開催中は、引率者もしくはコーチが必ず付き添うこと。
- 2、 代表者は、自チームのメンバー、コーチ、保護者などチーム関係者の監督責任を持つこと。
- 3、 メンバーのスキルを熟知し演技全体のパフォーマンスレベルを決定すること。
- 4、 メンバーが負傷した場合、迅速に対応できるよう対策をしておくこと。
- 5、 参加するにあたり、スポーツマンシップに則り、マナーのある行為を心がけること。

◎着地について

ジャンプ、タンブリングなどからの着地は足で大半の体重を支え、危険な着地は禁止とする。

◎シューズについて

接触によりケガにつながるもの、床面を傷つけるものは禁止。靴下・タイツのみは禁止とする。

◎アクセサリについて

落下や接触によりケガに繋がるものは装着禁止とする。

演技規定 =====

◎振付・服装・選曲について

挑発や侮辱、品の欠ける振付、服装は家族が観るイベントとして不適切なものは避けること。

◇使用楽曲について

暴力的、わいせつ、差別用語を含む歌詞が入っているもの、違法ダウンロードによる楽曲は禁止とする。

◇ユニフォームについて

挑発的なユニフォームは認められません。破損の可能性がない様、安全であること。

スカートを着用する時は、スカートの下にアンダースコートを着用すること。また、スカート丈はアンダースコートを完全に覆っていること。

◎手具について

演技フロアに持ち込める手具はポンポンのみとする。

ポンポンで表現する種目となるため、演技の80%は手具を保持している演技構成とすること。

◎タンブリング及び空中技※1 について

ポンポンを持った状態で手（身体）に全体重をかけること※2 は禁止。ただし、有効技の「前転、後転」については、ポンポンを持って実施可能。

※1 アクロバティック、体操的な技のこと。

※2 手（身体）と床面との間にポンポンがある状態

◎部門別項目/ 中学生以上の部

- ・両手及び片手の支持ある状態で、腰が頭を越える体勢の回転を含む、前方回転、側方転回、後方回転は実施可能。（体重をかける手に手具を持っていないこと、床面と手の間にポンポンを挟まないこと）
- ・手の支持がないもの（身体が空中に浮く）は実施不可。ただし、側宙、転宙は実施可能。

◎部門別項目/ 園児・小学生以上の部

- ・腰が頭を越える体勢での回転を含むタンブリングは不可。ただし、以下の有効技は実施可能。

【有効技】

- ・前転及び後転（ポンポンを持っていても可能）
- ・ショルダーロール
- ・両手及び片手側転
- ・両手及び片手支持の前方回転、後方回転

審査・表彰 =====

●審査について

審査を管理するヘッドジャッジと審査員の2名以上で審査を行います。

●表彰

各年齢部門の上位チームが表彰されます。(エントリー数により表彰数に変動します)